

そつだ  
小別沢のようす  
ぜんぜん見て  
ないよね

行って  
みようね

小別沢は  
明治の初めは  
屯田兵の  
訓練場だった  
から

最初の  
移住者は  
土地をかりて  
炭づくりを  
していたんだ



明治27年に日清戦争が  
はじまり、屯田兵も  
出かけていってしまい  
使われなくなった  
土地で炭づくりや  
造材が本格的に  
行われるように  
なったんだ!!



その炭焼きは  
明治32年に  
終わったけれど  
その後も  
移住者は小別沢で  
炭づくりや造材で  
生活していた



すごい勢いで  
燃えているよ

明治43年に  
自然発火し  
一か月間燃え  
続けた  
小別沢の  
山火事だ

小別沢の  
人たちは  
どうなったの?



あれっ

小別沢が  
火の海よ!



あれ地面  
から人  
が...

逃げおくれた  
人が地面に  
穴をほって  
上からぬれた  
ムシロをかぶ  
せて助かった  
ところだ...



この時代は  
消防隊も  
レスキュー隊も  
なかったから  
自分たちの命は  
自分で守るしか  
なかったんだ



木がなぎや  
炭づくりも  
造材も  
できない

これから  
どうして  
いけば  
いいんだ



以前の盤溪の  
山火事のあと  
農作物を  
植えたら良く  
育った

わたしは  
この山火事は  
畑づくりの  
苦勞を省いて  
くれたと思う

だから...  
これから  
畑作をやって  
いこうと  
考えている

えっ  
畑作ですか



あの男が  
言ったとおり  
農作物が  
良くとれた

これからは  
畑作ね...

山火事の  
あとの灰は  
植物の栄養  
となるん  
だよ

このあと  
小別沢は  
畑作中心で  
発展してゆく



小別沢じゃ  
水田ができ  
ないの

地形や  
水のこと  
無理だった

でも  
小別沢は  
地理的に  
有利なこと  
あったん  
だよ

えっ  
なんなの?

ムフフフ  
それは

あとの  
お楽しみだ

